

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7年 6月13日	
石川県知事	殿
提出者	
住 所 愛知県名古屋市中区錦一丁目11番20号	
氏 名 若築建設株式会社名古屋支店	
常務執行役員支店長 刀根 幸晴	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 052-201-5321	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	若築建設株式会社和倉港作業所他3箇所
事業場の所在地	石川県七尾市和倉町和歌崎20他2箇所
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 建設業
② 事業の規模	元請完成工事高：355,074千円（石川県内）
③ 従業員数	14名（石川県内）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物処理は全て委託 作業所⇒運搬処理業者⇒処分業者 【処分方法（処分業者）】 ・がれき類・紙くず・木くず・金属くず：破砕・粉砕もしくは再生材として再利用 ・廃プラスチック類：破砕・粉砕し、燃料又は再生材として再利用 ・混合廃棄物：選別、粉砕し、再利用 又は埋立処分 ・建設汚泥：脱水して再利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <p>統括管理担当者：名古屋支店長 処理管理者：名古屋支店安全環境部長 処理計画統括責任者及び処理責任者：統括作業所長 処理担当者：各現場担当者 処理計画作成担当者：名古屋支店 土木部担当者</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	排 出 量	176.79 t	1,520.53 t
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業であり、受注した工事内容により廃棄物の種類、処理量が大きく変動するが、廃棄物の分別保管、排出、マニフェスト管理、処理委託先を正確に実施しているか確認している。 ・発生した建設副産物は再生利用業者へ委託し、リサイクルを推進している。 		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業であり、受注した工事内容により廃棄物の種類、処理量が大きく変動するが、適正な施工方法の選択、資源置場の確保及び施工機械の選定等に配慮し、建設副産物の発生を抑制する。 ・現場での分別が出来なかった混合廃棄物については、選別機械を有する中間処理施設を活用し、リサイクルを推進する。 		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート殻、アスファルト殻、建設発生木材、紙くず、建設汚泥、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、混合廃棄物、石綿含有廃棄物を分別。 ・現場作業員から出る一般廃棄物と工事現場から排出される産業廃棄物処理との分離。 ・特定建設資源廃棄物の完全分別、また全社環境目標を設定。 		
②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>上記取り組みを継続実施していく。</p>		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和6年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和6年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	全 処 理 委 託 量	1 7 6 . 7 9 t	1 , 5 2 0 . 5 3 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	1 6 4 . 7 1 t	1 1 9 . 9 2 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	1 7 6 . 7 9 t	1 , 5 2 0 . 5 3 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・ 廃棄物処理法に規定する委託基準を遵守し、適正に委託する。 ・ 可能な限り再生利用業者へ委託し、最終処分場への搬入削減に努める。 ・ 積極的に電子マニフェストを利用し、電子マニフェストを導入している業者に委託をしている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 前述の取り組みの継続実施に加え、積極的に優良認定処理業者を活用する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和6年度の産業廃棄物排出量 及び 令和7年度の産業廃棄物排出目標

単位：t

産業廃棄物の 種類 項 目		汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	動・植物性残さ	金属くず	がれき類	がれき類	がれき類	混合物	ゴムくず	乾電池	合 計
									コンクリート殻	アスファルト殻				
令和6年度 実績	全処理委託量	0	0	0	177	0	0	105	1,415	0	0	0	0	1,697
	優良認定処理業者への 処理委託量	0	0	0	165	0	0	105	15	0	0	0	0	285
	再生利用業者への 処理委託量	0	0	0	177	0	0	105	1,415	0	0	0	0	1,697
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和7年度 目標	全処理委託量	0	30	1	500	0	24	130	850	450	15	0	0	2,000
	優良認定処理業者への 処理委託量	0	0	1	300	0	0	0	600	200	10	0	0	1,111
	再生利用業者への 処理委託量	0	30	1	500	0	24	130	850	450	15	0	0	2,000
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

若築建設株式会社 名古屋支店